

年頭所感

メディアを含めた 普及啓発活動を推進し 「尊厳死法制化」をめざす

(公財)日本尊厳死協会理事長

北村義浩



撮影/水村孝

新年明けましておめでとうござい
ます。

公益法人としての日本尊厳死協会
は4年目の春を迎えます。昨年6月

に岩尾總一郎前理事長(現名誉会長)
から理事長職を引き継ぎました。新
たな気持ちで役員一同、業務を遂
行してまいります。

協会発行の事前指示書であるリビ
ング・ウイル(LW)は、本人の自
律性に基づく終末期医療に備えた意
思表明書として、社会的に高く評価
されております。そのLWを「昨年、
今の時代に沿った「LW改訂版」と
して公表させていただきました。

この改訂版は、法が想定する本人
意思確認方法としてきわめて有効性
の高いものであると考えております
ので、なるべく早く尊厳死法制化に
取り入れていただくべく、議会対策
を進めてまいりたいと考えておりま
す。

啓発活動の方向を 早急に示したい

協会の主たる活動である「LW
の普及啓発」ですが、3年以上にわ
たる長引くコロナ禍で、会員向け講
演会や座談会などの開催が難しくな
ったこともあり、十分な活動が行われ
なかったことは誠に残念でなりませ
ん。そうしたなか、一昨年から「My
LIFE! My CHOICE!」(マイライフ
! マイチョイス!) (TBS ラジ
オ、ラジオ大阪)という尊厳死の啓
発ラジオ番組を始めるなどの試みを

行ってまいりました。また昨年、月
刊誌「婦人公論」に、「ご遺族アンケ
ート」からの特設サイト「小さな灯
台プロジェクト」に寄せられたエビ
ソードを紹介しつつ、ご両親や配偶
者を見送った貴重な体験を読者の皆
さまと広く共有しています。こうし
たメディアを活用した普及啓発活動
について、その継続も含め、今後の
具体的な活動の方向を早急に示した
いと考えています。協会のホームペ
ージ <https://songenshi-kyokai.or.jp/>
には、前記ラジオ放送のアーカイブ
をはじめ、尊厳死に関する国内外の
最新情報、協会受容協力医師の案内、
「小さな灯台プロジェクト」など、
多くのコラムを掲載しています。今
後もSNS、ブログ、YouTubeなど
を活用し、有用な情報を発信してま
いります。

最後になりましたが、会員数の減
少が続いているなか、活動の維持・
拡大を図るには、皆さまからのご寄
付や遺贈などのサポートが必要で
す。協会への一層のご支援をお願い
申し上げますとともに、会員の皆さ
まのご健勝をお祈りし、年頭のあい
さつといたします。

